

平成 29 年度第 1 回中小企業活性化審議会 において出された主な意見等

○開催日時：平成 29 年 7 月 24 日（月） 14:00～15:37

○出席委員：浅野邦彦委員、井上多佳子委員、片岡哲司委員、北川陽子委員、坂田徳一委員、竹中滋祥委員、竹中仁美委員、辻田素子委員、羽田真樹子委員、日向寛委員、弘中史子委員、藤岡順子委員、宮川孝昭委員、森下あおい委員、盛武隆委員

○議題：平成 28 年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画の検証について

○主な意見等

- ・ 事業の評価は、基本的には年度単位で評価していくと思うが、人材の育成など、何年か後に出てくる成果もあると思われるので、もう少し長期的に事業を評価するような見方があってもよいのではないか。
- ・ グラフとか数字だけでは、そこに何があったのか分からない。現実的、具体的な情報が、魅力の発信につながると思う。
- ・ 事業パンフレットで説明してもなかなか分かってもらえないところが、活用事例を発信することによって、伝わるがあると思う。
- ・ 新しいことを次々とやっている企業に比べて、中小企業の経営基盤の強化をどうするのかということが弱いという印象を受ける。
- ・ 地域に根づいた方が顔の見える関係で、支援メニューを知らない方たちにも足を運んで情報を届け、活用してもらおうことがもっと必要。
- ・ 保証料の補助率をもう少し引き下げるとなれば、県の制度融資がもっと使われるようになるのではないか。
- ・ ファムトリップなど、県と一緒にいう観光誘致の取り組みについて、もう少しタイアップして、いろいろなことができないものか。
- ・ 施策紹介冊子については、形態別の他に、目的別のメニューを設けるといのも一つの方法ではないか。